

申1号 第31回定期大会発言に基づく申し入れを行う!

6月14日～15日、JR東労組第31回定期大会を盛岡地本の万全な準備のもと「ホテル安比グランド」において開催し、向こう1年間の運動方針を満場一致確認しました。

定期大会では、安全再確立に向けた課題と職場現実、2015春闘における課題、本人希望を無視した強制転勤、一方的な解釈で労働協約を逸脱する会社姿勢などの多くの発言が出されました。

また、職場では日々の業務で取扱いを誤れば長期日勤や膨大な報告書が求められ、My Projectや各種委員会などが本来業務よりも優先される「責任追及」と「競争」という職場が作りだされていることも明らかになりました。社員間格差や競争によって安全をも脅かしている事態を是正し、安全を第一にしたJR東日本を再確立するために、精力的に団体交渉をおこないます。

要求項目!!

1. 鉄道事業者として最重要課題である「安全」を確保するため、「危険を感じたら列車を止める」という安全意識と安全風土を再確立すること。
2. 危険を感じ自らの判断で列車を止めた場合は、本人の責任を追及するかのような報告書の提出や聞き取りなどの対応はおこなわないこと。
3. 自らの判断で列車を止めた事象については、全社的に明らかにし安全を確保した成功例として共有化を図ること。
4. JR北海道に派遣されたJR東日本一部経営幹部が企画した「現場力向上に向けた講演会」に関する事実経過を明らかにするとともに、今後の乗務員基地統廃合施策に対するJR東日本としての見解を示すこと。
5. 通告伝達システムは、安全管理および運行管理をおこなう上で重要なシステムであり、運転通告の重要性を再認識した上で取り扱うこと。また、通告伝達システムに不備がある状態での運用はおこなわないこと。
6. 新入社員研修については、社員間の競争を煽る現行の研修内容を見直し、配属後に担う業務を中心に業務知識向上のためのカリキュラム設定とすること。
7. My Project を取り組むにあたっては、管理者が活動実態を適切に把握するとともに、時間外で活動をおこなう場合は、1回2時間程度、月2回を目安におこなうことを遵守すること。
8. 会社が任用の基準に基づき社員に転勤を命じる目的を明確に示すこと。
9. 世代交代の渦中であって、各現業機関に確実な技能・技術を継承するために、同一箇所長期勤務を理由とした異動はおこなわないこと。また、異動に際して利益誘導の面談や意識付けはおこなわないこと。
10. 設備・電気部門における「7年育成プラン」に対するこれまでの取り組みと会社の評価を明らかにすること。また、技能・技術を確実に継承するために、現場に出る機会や直接設備に触れる機会を増やすこと。
11. 異動等に伴い企画部門に働く組合員が新たに担務等を引継ぐ場合は、前任者との引継ぎ期間を設け、業務運営を円滑におこなえるようにすること。また、業務を複数担当するなど作業が輻輳する時期には、管理者が業務内容を的確に把握し、担当者の負担軽減のための必要な対策をおこなうこと。
12. 事業所ならびに労働者の安全衛生等を管理する産業医の選任にあたっては、公正・公平な立場を堅持し、会社と労働者に対して中立かつ対等な判断をおこなえる医師を指定すること。
13. JR東日本グループの各会社からJR東日本への株主配当のあり方の見直しをおこない、グループ会社の経営基盤の確立と労働環境・労働条件向上を図ること。
14. 年末年始輸送、GW輸送および夏期輸送期間中の工事一時中止期間内において、工事工程等の都合により特認工事をおこなう場合は、単身赴任者に支給されている帰省用代用証の使用を認めること。

「責任追及」や「競争」する職場ではなく、「安全」と「チームワーク」を第一にした職場を創り出そう!!